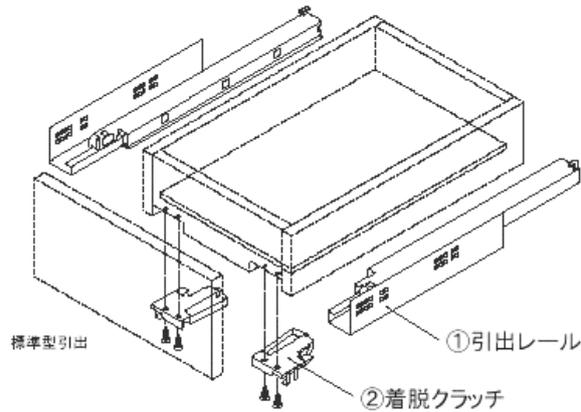


タンデムレール 560H 組み立てかた

1. 必ず必要なセット

引出レール左右1組①と着脱クラッチ左右1組②は必ず必要です。



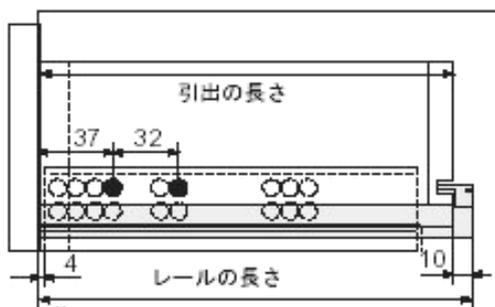
2. レールの長さを選ぶ

キャビネットの奥行内寸次第で使用するレールの長さが異なってきます。長さ 450mm のレール 560H 4500 を使用するにはレールの長さ+3mm の 453mm の内寸が最低必要です。引出側板の厚みは 15mm か 16mm にしてください。

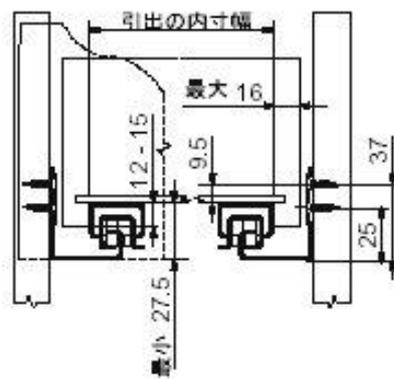
3. 引出の長さを決める。

引出の長さはレールの長さマイナス 10mm にしてください

例：560H4500C の場合は $450 - 10 = 440\text{mm}$



引出とレールの寸法



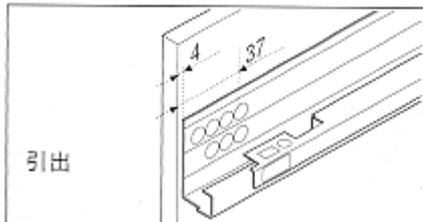
引出の内寸幅 =
キャビネット内寸幅 - 42mm

4. 受レールを側板に止める（側板には芯材があり、十分なネジ保持力を有することを確認ください）
正しい位置にレールが水平になるように取り付けてください。ネジはφ4mm、長さ15mm
以上のものかφ6mm、長さ14.5mmのシステムネジで手前のネジ群のうち任意の2か所、奥のネジ群
のうち任意の2ヶ所合計4ヶ所を止めてください。

レールの長さ
270mm
350mm
400mm
450mm
500mm
550mm



取付位置

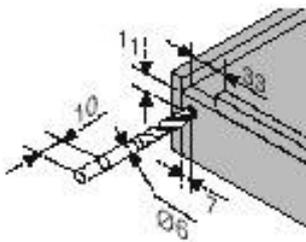


*防虫パッキン等をお使いの場合はその厚み分だけレールを手前側に取り付けてください。

キャビネット側板前面から4mm離してネジ止め

引出の加工

引出先板（背板）裏左右にφ6mm、深さ10mmの穴を開けます。



穴2ヶ所

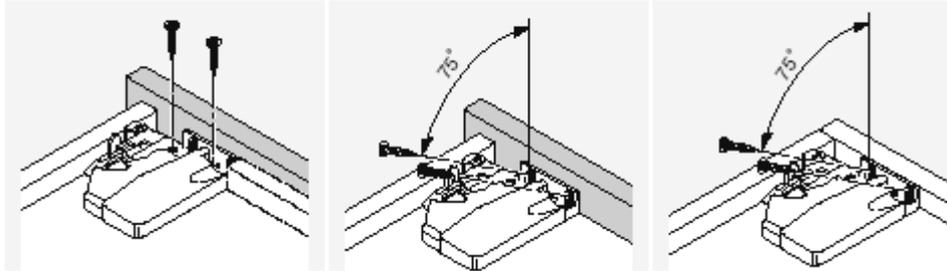


レールのフックが背板後ろの穴に入る前と入った後

着脱クラッチの取付

着脱クラッチは引出のはずれ止めと引出前板の高さ調整に必ず必要です。
引出底板と側板、前板に当てて引出前板か底板にネジ止めしてください。

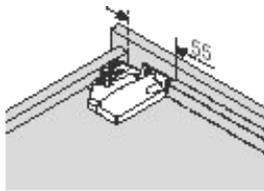
着脱クラッチの取付



引出（前板が2枚の場合）

標準引出

内引出



※引出前板が2枚の時のみ55mmの切り欠きが必要

いったん4面組にして、更に引出鏡板を取り付ける場合は左のように55mmの切り欠きが必要です。

レールの先端が着脱クラッチの爪と噛み、ダークグレーのプラスチックガイドがレール側部にはまりますのでしっかり止まります。引出底板はネジ止めする必要はありません。

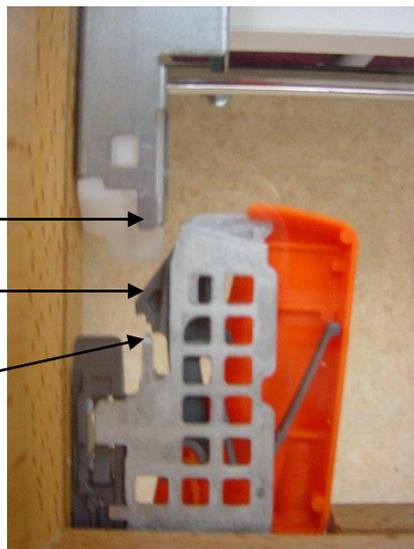
噛み合う前

噛んだところ

レール先端

プラスチックガイド

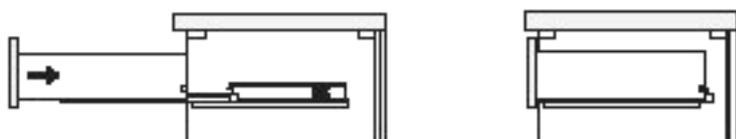
爪



着脱クラッチは引出の裏に左右1ヶずつ付けます

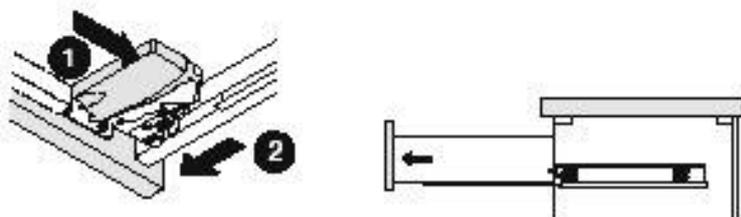


引出の入れかた



引出をレールにのせて押すだけです。カチャという音を確認してください。

引出のはずしかた



引出の裏に付いている左右の着脱クラッチのオレンジ色のレバーを同時に外側へ押しと引出がはずせます。

調整

前板の高さ調整（レバーを引く）

前板の傾き調整（レール先端のレバーを回す）

